おいしさ、ふれあい。
プリマハム

2026年度 上期
決算補足説明資料

2026年10月30日
プリマハム株式会社
（東証プライム市場：2281）

注　意　事　項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく
当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。
従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

【お問合せ先】
〒１４０－８５２９
東京都品川区東品川４－１２－２　GRC品川イノベーションパーク
プリマハム株式会社　総務・広報部
ＴＥＬ：０３－６３８６－１８００
当社ＨＰからお問い合わせが可能です。※以下をクリックしてアクセスしてください。
プリマハム｜IR・投資家情報｜IRに関するお問い合わせ

2026年度上期　連結損益実績

（億円 ／ %）

	前年実績		26年度			
	上期	売上高比	上期	売上高比	前年差	増減率
売上高	2,361	-	**2,480**	-	+119	+5.1
売上原価	2,096	88.8	**2,212**	89.2	△115	△5.5
売上総利益	264	11.2	**268**	10.8	+4	+1.5
販売管理費	215	9.1	**225**	9.1	△10	△4.6
営業利益	49	2.1	**43**	1.7	△6	△12.2
経常利益	56	2.4	**47**	1.9	△9	△15.8
税金等調整前中間純利益	53	2.2	47	1.9	△5	△10.3
中間純利益	26	1.1	32	1.3	+6	+23.2
非支配株主帰属中間純利益	▲ 6	-	1	-	+7	-
親会社株主帰属中間純利益	32	1.3	**31**	1.2	△1	△2.5

2026年度上期レビュー

- １Qに続き、売上高は「香薫」や「ジョンソンヴィルウインナー」などの主力商品の販売好調、加工食品および食肉のトレード拡大が寄与し、前年比増収。
- 営業利益は、ベンダー事業の利益改善が寄与したものの、原油高に伴う包装資材等のコスト上昇および養豚事業の収益悪化により、前期比減少。
- 2Q累計純利益は前期一過性損益の反動があったものの、営業利益減少の影響が大きく、微減。

【プリマハム単体】

（億円 ／ %）

	前年実績	26年度		
		上期	前年差	増減率
売上高	1,747	**1,866**	+119	+6.8
営業利益	45	**36**	△10	△21.7

2026年度上期　セグメント別

（億円 ／ %）

		前年実績	26年度 上期	前年差	増減率
加工食品事業部門	売上高	1,575	**1,617**	+42	+2.6
	営業利益	45	**45**	△0	△0.3
	営業利益率	2.8%	**2.8%**	△0.1pt	-
食肉事業部門	売上高	779	**856**	+77	+9.9
	営業利益	6	**4**	△2	△26.1
	営業利益率	0.8%	**0.5%**	△0.2pt	-
その他（※1）	売上高	6	**7**	+1	+13.2
	営業利益	▲2	**▲6**	△4	-
連結合計	売上高	2,361	**2,480**	+119	+5.1
	営業利益	49	**43**	△6	△12.2
	営業利益率	2.1%	**1.7%**	△0.3pt	-

※1 その他：「調整額」を含めて記載

2026年度上期レビュー

加工食品事業：増収減益

- 主力の「香薫」を中心とするハム・ソーセージおよび業務用調理食品やサラダチキン等の加工食品の販売数量伸長が牽引し増収。ベンダー事業は中食需要低迷により減収。
- 単体は、原料・物流費高騰等の各種コストアップを増収効果で吸収しきれず減益。ベンダー事業ならびに海外事業の利益改善により補い、営業利益は微減。

食肉事業：増収減益

- 牛肉・豚肉・鶏肉の各畜種トレードが堅調に推移し、増収。
- 販売量増によりトレード事業の売上総利益は伸長したが、国産豚肉は相場下落に伴い利益率悪化。物流費等の各種費用増加もあり営業利益は減益。

【商品別売上高】

（億円 ／ %）

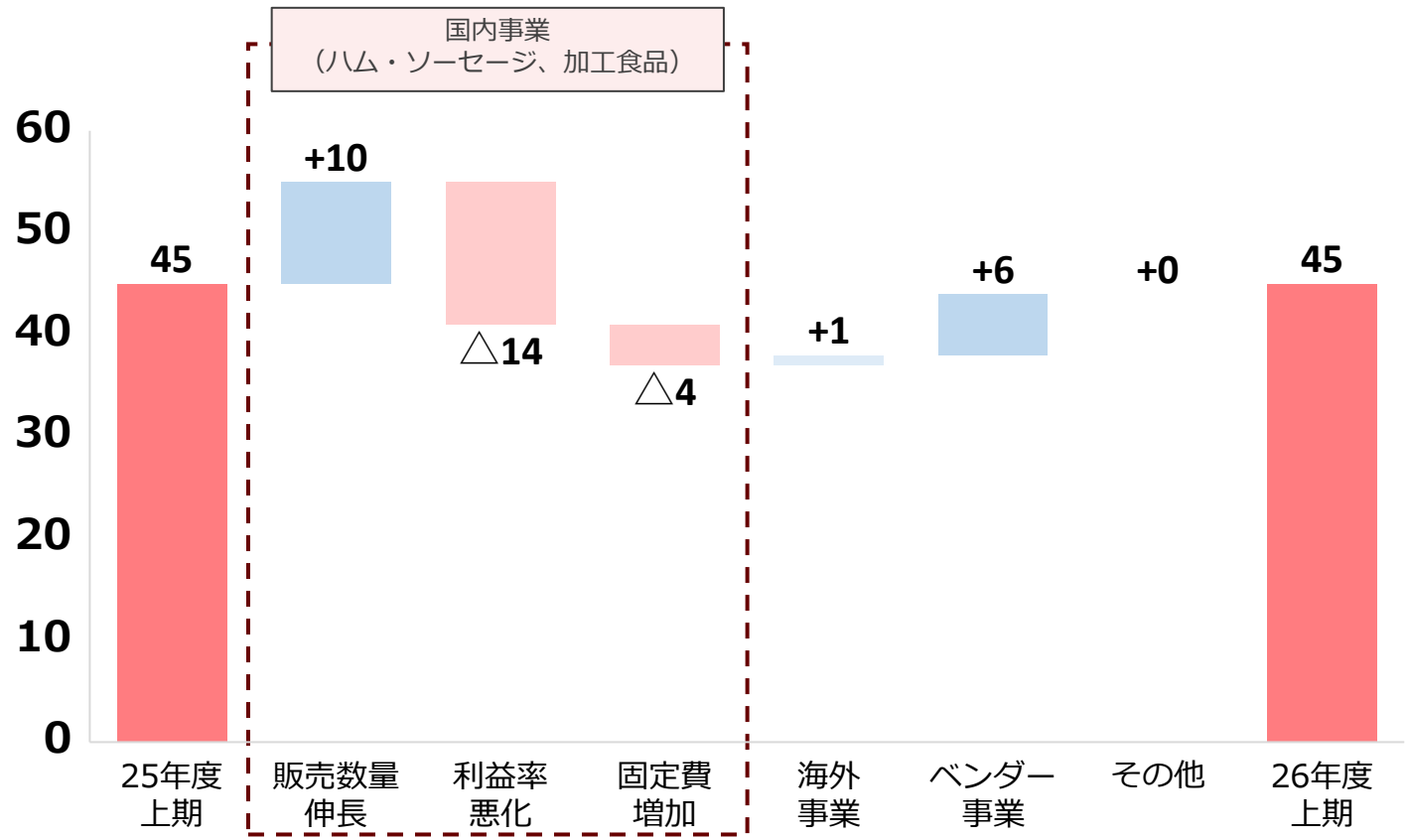
	前年実績	26年度 上期	前年差	増減率
ハム・ソーセージ	624	**648**	+24	+3.8
加工食品 他	385	**408**	+23	+5.8
ベンダー事業	492	**470**	△22	△4.5
食肉（※2）	846	**938**	+91	+10.8
連結合計	2,361	**2,480**	+119	+5.1

※2 食肉：加工食品事業部門の食肉販売売上高を含めて記載

加工食品事業部門　営業利益 要因別増減

（億円 ／ %）

	前年実績	26年度 上期	26年度 前年差	26年度 増減率
売上高	1,575	1,617	+42	+2.6
営業利益	45	**45**	△0	△0.3
営業利益率	2.8%	2.8%	△0.1pt	-



- **国内事業**
  販売数量伸長　：+10億円
  利益率悪化　：△14億円
  固定費増加　：△4億円
  主力の「香薫」を中心に販売数量伸長も、原料高騰各種コストアップにより前年比減益で着地。
- **海外事業　：+1億円**
  日本向け商品への価格転嫁、生産性の改善、労経費削減により改善。
- **ベンダー事業　：+6億円**
  売上減少も原料費・労経費削減が寄与し増益。

【各事業会社損益】

（億円 ／ %）

		前年実績	26年度 上期	26年度 前年差	26年度 増減率
海外事業会社(※1)	売上高	17	**19**	+2	+10.0
	営業利益	▲6	▲5	+1	+16.5
ベンダー事業会社	売上高	492	470	△22	△4.5
	営業利益	▲5	**2**	+6	-

※1 海外事業会社4社の合計

加工食品事業　商品別販売数量及び人時生産性

1. ハム・ソーセージ

- コンシューマー商品は主力の「香薫ウインナー」が好調に推移し数量拡大を牽引、シェアは前年度から1.2pt拡大。
- 人時生産性はウインナーの数量増により改善。

①ハム・ソーセージ全体の販売数量前年比　(%)

	23年度	24年度	25年度	2026年度 1Q	2Q	上期	構成比
ハム・ソーセージ計	103	101	101	103	105	**104**	
コンシューマー商品	103	103	102	105	109	**107**	
ウインナー群	105	105	110	112	117	**114**	
(香薫ウインナー)	(107)	(105)	(112)	(108)	(112)	**(110)**	79.7
ロースハム群	102	105	99	99	103	**101**	
ベーコン群	102	102	91	92	100	**96**	
業務用商品	104	93	97	94	93	**93**	19.9
ギフト	83	84	82	91	85	**86**	0.4

②ハム・ソーセージ コンシューマーシェア 前年差推移（SCIデータ）

23年度	24年度	25年度	26年度 上期
+1.0pt	+1.4pt	+1.3pt	**+1.2pt**

③人時生産性 前年比増減率推移　(%)

	23年度	24年度	25年度	26年度 上期
ハム・ソーセージ	△2.5	△1.9	△1.9	**+2.7**
量目変更を考慮	△0.7	△1.1	+0.8	**+2.7**

2. 加工食品（ハム・ソーセージ以外）

- コンシューマー商品はサラダチキン群、業務用はCVS向けが数量拡大を牽引。調味生肉はCVS向け商材が減少。
- 人時生産性は商品構成、数量増により大幅改善。

①加工食品全体の販売数量前年比　(%)

	23年度	24年度	25年度	2026年度 1Q	2Q	上期	構成比
加工食品計	100	92	104	107	106	**107**	
調食コンシューマー	97	102	103	107	98	**103**	
ハンバーグ群	91	88	101	122	113	**117**	
ミートボール群	75	98	111	93	94	**94**	32.6
サラダチキン群	101	102	105	111	104	**108**	
フライ群	105	111	106	100	98	**99**	
調食業務用商品	103	89	111	108	112	**110**	53.8
調味生肉	99	87	91	98	81	**88**	13.5

②加工食品 コンシューマーシェア 前年差推移（SCIデータ）

23年度	24年度	25年度	26年度 上期
+1.0pt	△0.1pt	+0.4pt	**+1.1pt**

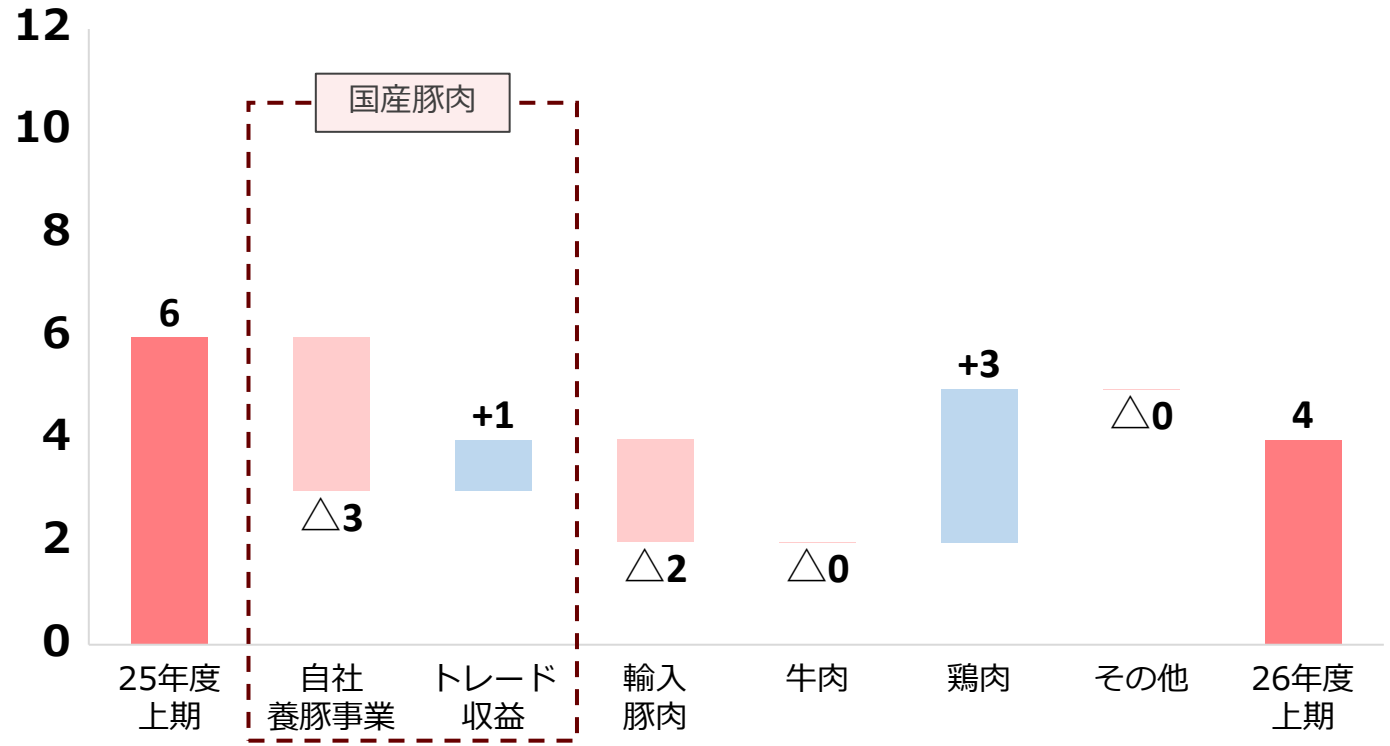
③人時生産性 前年比増減率推移　(%)

	23年度	24年度	25年度	26年度 上期
加工食品	△4.0	△8.4	+2.0	**+9.7**
量目変更を考慮	△1.3	△7.8	+3.9	**+10.9**

食肉事業部門　営業利益 要因別増減

（億円 ／ %）

	前年実績	26年度 上期	26年度 前年差	26年度 増減率
売上高	779	856	+77	+9.9
営業利益	6	**4**	△2	△26.1
営業利益率	0.8%	0.5%	△0.2pt	-



- **国産豚肉　自社養豚事業：△3億円**
  トレード収益：+1億円
  自社養豚事業は国産豚肉相場の下落・飼料価格上昇・出荷頭数減少により減益。
- **輸入豚肉　：△2億円**
  販売数量は伸長したが、原料高騰を価格転嫁しきれず、利益率悪化により減益。
- **牛肉　：△0億円**
  国産牛肉の価格転嫁遅れを輸入牛肉の収益改善で補い微減。
- **鶏肉　：+3億円**
  国産鶏肉の数量伸長と輸入鶏肉の収益改善により増益。

【各事業会社損益】

（億円 ／ %）

		前年実績	26年度 上期	26年度 前年差	26年度 増減率
養豚事業会社(※1)	売上高	40	**40**	+0	+1.2
	営業利益	5	**2**	△3	△63.3
処理・加工事業会社(※2)	売上高	2	**2**	+0	+21.3
	営業利益	▲0	**▲0**	△0	-

※1 養豚事業会社4社の合計
※2 食肉処理・加工事業会社2社の合計

2026年度上期実施事項（加工食品事業、食肉事業）

おいしさ、ふれあい。 プリマハム

市場環境

- 円安による調達コスト、エネルギーコストの上昇。
  賃金上昇による人件費増加。
- 物価上昇による消費者の節約志向が継続。
- 国内食肉加工品生産数量は26年4月～8月累計で前年比98%（日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表）。
- 中東情勢の緊迫化を背景に原油価格が不安定に推移。
- 国内豚相場は6月以降前年を下回る傾向。

加工食品事業

営業・販売促進施策

■ハム・ソーセージ

- 香薫ウインナー大袋増量企画、新規で香薫単独キャンペーンを実施し、売場獲得による数量増
- ジョンソンヴィルウインナーの納品店舗拡大と定着化に向けた取り組み強化

■加工食品

- 外食企業向け新規商品メニューの展開

生産

- 充填機改造によるウインナーの生産能力向上
- 新規X線検査装置導入によるサラダチキン品質安全管理強化
- 環境エリア新設および減容化設備導入による動物性残渣・廃プラスチック排出量の削減
- ベンダー事業、海外事業の収益改善

食肉事業

トレード

■豚肉：上期数量　前年比108%

- カナダHyLife社を中心とした輸入豚肉の販売数量拡大

■牛肉：上期数量　前年比94%

- 在庫、収益管理適正化により輸入牛肉の収益改善
- 大手量販店向け国産牛肉取引の拡大
- 和牛輸出の拡大

■鶏肉：上期数量　前年比105%

- 国産鶏 新規銘柄取り扱いによる数量拡大
- タイ産米どりの収益性改善

養豚

- 疾病対策（外部獣医師との契約、ワクチンプログラム改定）

2026年度連結業績予想の進捗

おいしさ、ふれあい。 プリマハム

（億円 ／ %）

連結業績	前年実績	2026年度計画 通期	前年差	増減率
売上高	4,756	**5,000**	+244	+5.1
営業利益	91	**110**	+19	+20.5
親会社株主帰属当期純利益	46	**75**	+29	+63.5
営業利益率	1.9%	**2.2%**	+0.3pt	-

（億円 ／ %）

連結業績	前年実績	2026年度 1Q	2Q	上期
売上高	2,361	1,224	1,253	**2,480**
営業利益	49	25	17	**43**
親会社株主帰属当期純利益	32	17	14	**31**
営業利益率	2.1%	2.0%	1.4%	**1.7%**

（%）

連結業績	上期進捗率	前年差
売上高	49.6	+0.4pt
営業利益	39.2	△1.6pt
親会社株主帰属当期純利益	41.0	+1.6pt
営業利益率	-	-

加工食品事業部門	前年実績	2026年度計画 通期	前年差	増減率
売上高	3,146	**3,440**	+294	+9.3
営業利益	79	**98**	+19	+23.6
営業利益率	2.5%	**2.8%**	+0.3pt	-

加工食品事業部門	前年実績	2026年度 1Q	2Q	上期
売上高	1,575	796	821	**1,617**
営業利益	45	23	22	**45**
営業利益率	2.8%	2.9%	2.6%	**2.8%**

加工食品事業部門	上期進捗率	前年差
売上高	47.0	0.0pt
営業利益	45.6	+0.7pt
営業利益率	-	-

食肉事業部門	前年実績	2026年度計画 通期	前年差	増減率
売上高	1,601	**1,550**	△51	△3.2
営業利益	19	**28**	+9	+45.0
営業利益率	1.2%	**1.8%**	+0.6pt	-

食肉事業部門	前年上期	2026年度 1Q	2Q	上期
売上高	779	425	431	**856**
営業利益	6	4	0	**4**
営業利益率	0.8%	0.9%	0.1%	**0.5%**

食肉事業部門	上期進捗率	前年差
売上高	55.2	+1.4pt
営業利益	15.7	△7.3pt
営業利益率	-	-

年間計画達成に向けて

- 加工食品事業では、価格改定の浸透とともに、効果的なキャンペーン展開により「香薫」「ジョンソンヴィル」など主力商品の伸長とベーコン・業務用商品の底上げ推進。ベンダー事業・海外事業の改善・各工場での生産性向上施策を継続実施。
- 食肉事業では自社養豚事業の利益率改善に最優先で取り組む。

2026年度下期施策（加工食品事業、食肉事業）

おいしさ、ふれあい。 プリマハム

加工食品事業

営業・販売促進施策

■ハム・ソーセージ
- 香薫ウインナー増量企画や全国キャンペーン投入を実施し、売場獲得による更なる数量の拡大
- ジョンソンヴィルウインナーの売り場の新規提案等による納品店舗拡大と定着化
- NB商品への新たな販促施策の投入、売上改善
- 自社原料調達力を生かした商品施策によるシェア拡大

■加工食品
- 外食企業向け新規メニュー･商品提案による売上拡大

■マーケティング
- SNS公式アカウントを活用した販売促進企画

生産
- 自動箱詰め装置導入による生産性向上
- ドライ商品の生産能力増強投資による数量増
- 熱処理設備更新による生産能力向上
- 新規X線検査装置導入によるウインナー品質安全管理強化
- ベンダー事業、海外事業の収益改善

食肉事業

トレード

■共通
- 外食産業・食品メーカー等の新規開拓、量販店やCVS向けの既存深耕による販売数量拡大

■豚肉
- 国産PB豚肉の新規開発による数量拡大
- 内臓肉等の副産物販売の収益改善
- オリジナルブランド ハーブ三元豚の拡販による数量拡大

■牛肉
- 和牛輸出の更なる拡大
- 輸入牛肉の新規商品開発
- オリジナルブランド 味わい葡萄牛の拡販による数量拡大

■鶏肉
- 国産鶏肉のサプライヤー拡充
- タイ産 米どり販売の更なる拡大
- 在庫、収益管理適正化により収益改善

養豚
- 生産性の改善（種豚更新、来年度暑熱対策等）

連結貸借対照表

おいしさ、ふれあい。 プリマハム

（億円）

	25年度 期末	26年度 上期	期末 増減
流動資産	1,037	1,110	+73
現金及び預金	98	130	+32
預け金	4	36	+32
受取手形及び売掛金	493	510	+17
たな卸資産	358	404	+46
その他	85	30	△54
固定資産	1,376	1,376	±0
有形固定資産	942	913	△28
無形固定資産	221	249	+28
投資その他資産	213	214	±0
資産合計	2,413	2,486	+73

期末休日要因による増減影響：無

- 新基幹システム開発に伴う無形資産増加
- 市況に応じた原料等の調達による仕入債務の影響（増加）
- 保有していた外債売却代金入金に伴う現預金の増加

	25年度 期末	26年度 上期	期末 増減
負債合計	1,107	1,172	+65
流動負債	853	939	+86
固定負債	254	233	△21
純資産合計	1,305	1,314	+8
株主資本合計	1,117	1,128	+11
資本金 + 資本準備金	181	181	±0
利益剰余金	939	950	+11
自己株式	▲4	▲3	+1
その他包括利益合計	103	98	△4
非支配株主持分	86	87	+1
負債純資産合計	2,413	2,486	+73

（億円 ／ 倍）

	25年度 期末	26年度 上期	期末 増減
有利子負債	199	201	+2
ネット有利子負債	98	35	△62
ネットＤＥＲ	0.08	0.03	△0.05

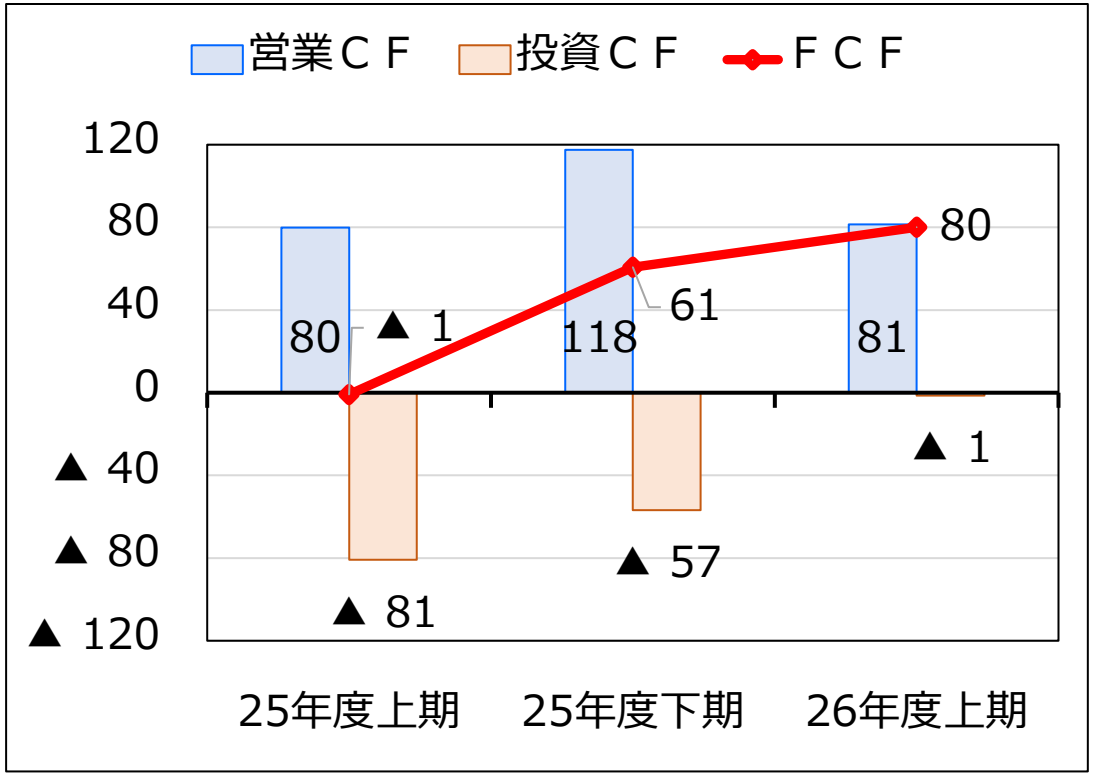
連結キャッシュフロー計算書

（億円）

	25年度 上期	25年度 下期	**26年度 上期**	**前年同期 増減**
①営業活動による　キャッシュ・フロー	80	118	81	+1
税金等調整前中間純利益	53	34	47	△5
減価償却費	57	61	53	△4
売上債権の増減額　「▲」は増加	▲ 10	2	▲18	△7
棚卸資産の増減額　「▲」は増加	▲ 16	14	▲47	△31
仕入債務の増減額　「▲」は減少	0	2	76	+76
その他	▲ 4	5	▲31	△26
②投資活動による　キャッシュ・フロー	▲ 81	▲ 57	▲1	+79
有形固定資産の支出	▲ 63	▲ 39	▲37	+26
無形固定資産の支出	▲ 13	▲ 58	▲21	△8
その他	▲ 5	40	56	+62
①＋②フリーキャッシュフロー	▲ 1	61	80	+81
③財務活動による　キャッシュ・フロー	▲ 10	▲ 54	▲19	△9
④現金及び現金同等物の期末残高	52	59	120	+68

期末休日要因による増減影響：無

- 営業CF：前年同期比横ばい
- 投資CF：前期末に売却の外債売却代金入金+51億円



【設備投資及び減価償却費】

（億円）

	25年度 上期	**26年度 上期**	**前年差**
設備投資額	78	62	△16
内、DX投資(全体)	13	30	+17
減価償却費	57	53	+4

参考データ

連結損益計算書の推移（2022年度～2026年度上期）

おいしさ、ふれあい。 プリマハム

（億円）

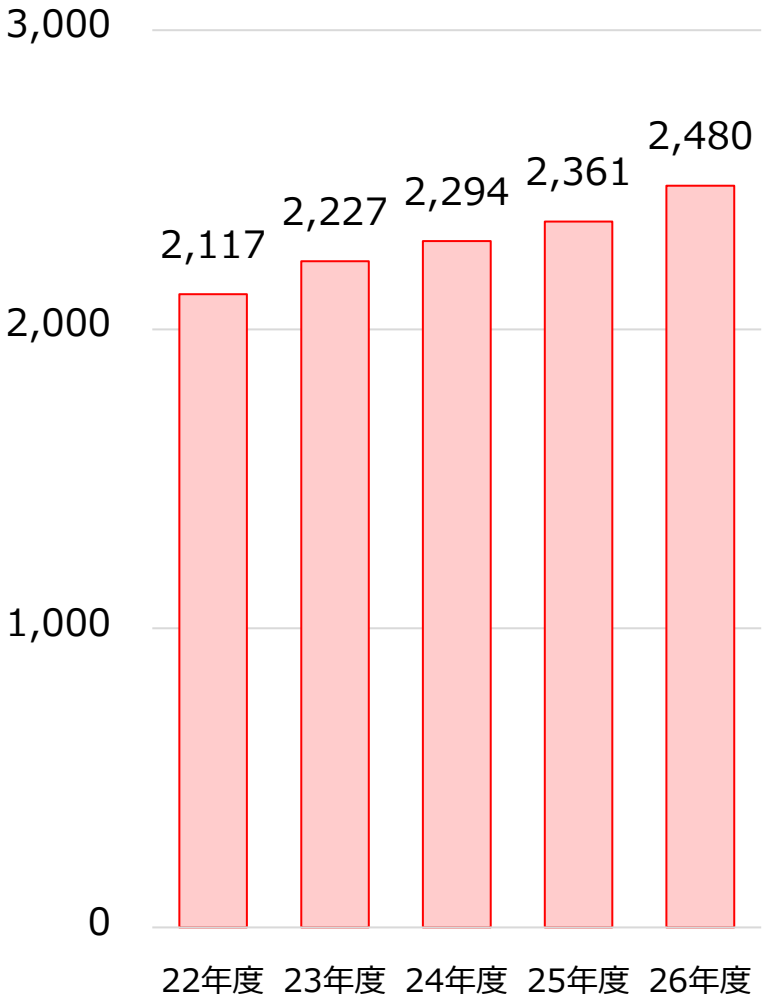
		2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			**2026年度**
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	**上期**
売上高	加工食品事業部門	1,484	1,522	3,007	1,571	1,551	3,122	1,579	1,556	3,135	1,575	1,571	3,146	1,617
	食肉事業部門	630	665	1,296	653	703	1,356	712	730	1,442	779	821	1,601	856
	その他	3	3	5	3	3	6	3	3	7	6	3	9	7
	合　　計	2,117	2,190	4,307	2,227	2,257	4,484	2,294	2,289	4,584	2,361	2,395	4,756	2,480
売上原価		1,871	1,959	3,830	1,968	2,015	3,983	2,040	2,058	4,099	2,096	2,134	4,230	2,212
売上総利益		246	232	478	259	242	501	254	231	485	264	262	526	268
販売管理費		191	189	380	191	192	383	192	203	395	215	219	434	225
営業利益		55	43	97	68	50	118	62	28	89	49	42	91	43
営業外損益		4	4	8	6	5	11	6	9	16	7	14	21	4
経常利益		58	47	105	74	55	129	68	37	105	56	56	112	47
特別損益		▲ 1	▲ 45	▲ 46	▲ 5	11	5	8	▲ 4	4	▲ 3	▲ 22	▲ 25	0
税金等調整前中間純利益		58	1	59	69	65	134	76	33	109	53	34	87	47
親会社株主帰属中間純利益		37	8	45	39	36	75	43	28	71	32	14	46	31
営業利益率（%）		2.6%	1.9%	2.3%	3.1%	2.2%	2.6%	2.7%	1.2%	2.0%	2.1%	1.8%	1.9%	1.7%
平均為替レート（円/米ドル）		134	137	136	141	148	145	153	152	153	146	155	151	159

上期 連結売上高、営業利益、純利益の推移

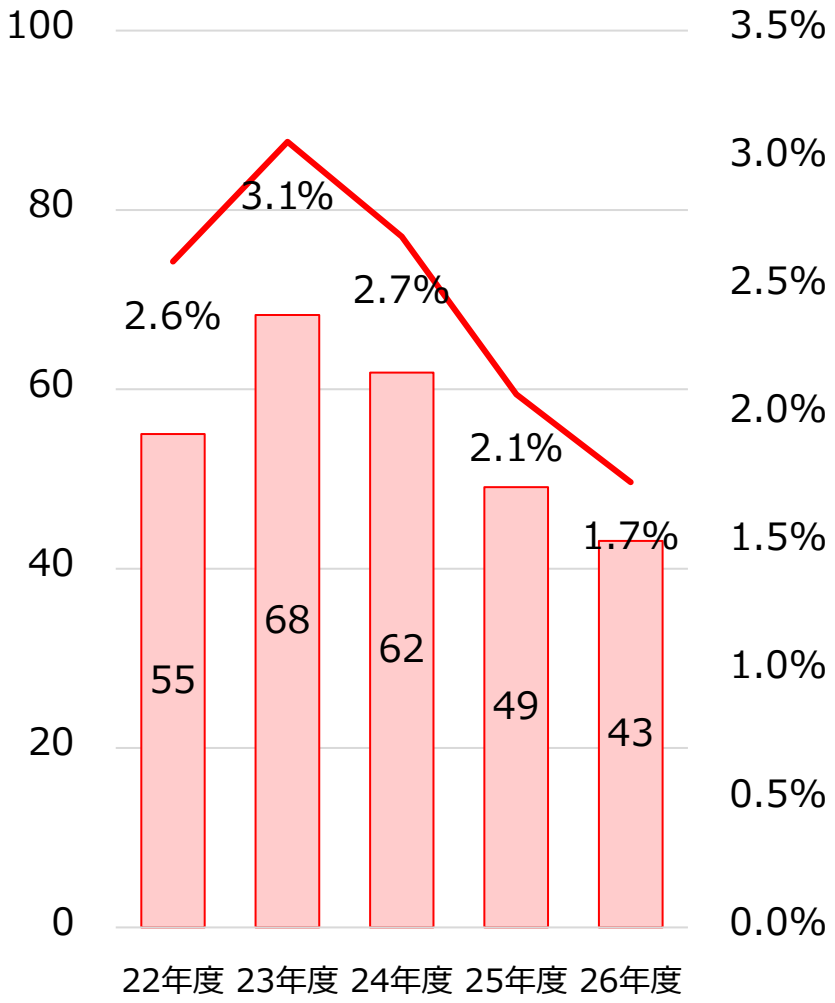
おいしさ、ふれあい。 プリマハム

（億円）

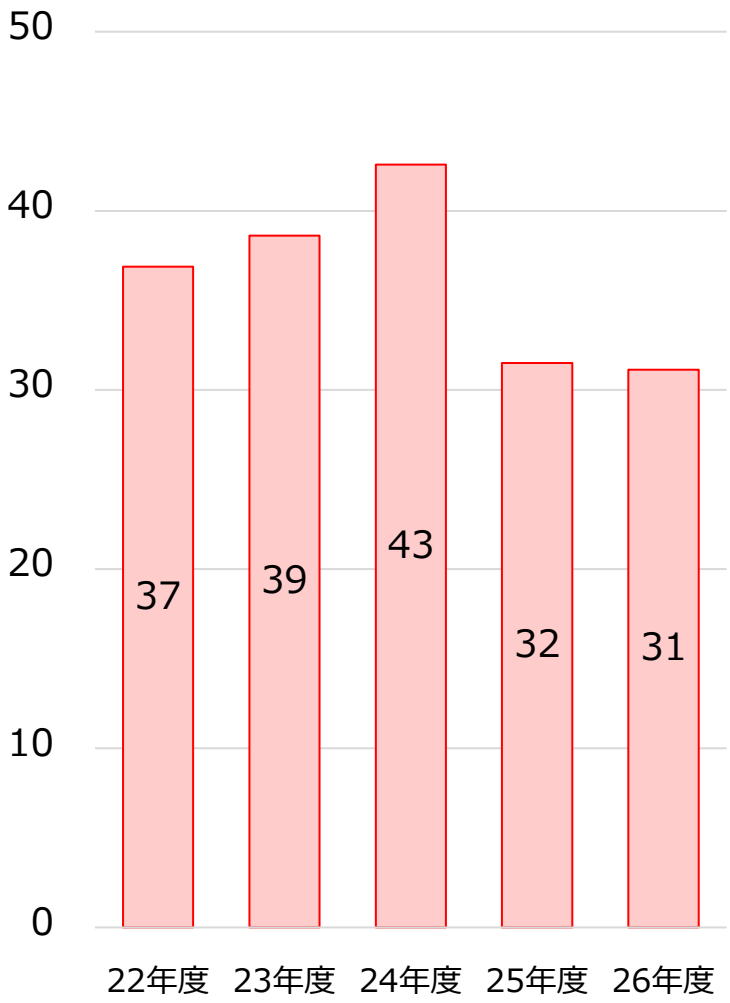
連結売上高



連結営業利益、売上高営業利益率



連結純利益



商品別売上高の推移（2022年度～2026年度上期 ）

（億円）

		2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			2026年度
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期
売上高	ハム・ソーセージ	510	529	1,039	559	562	1,121	588	597	1,185	624	622	1,246	648
	加工食品 他	364	368	731	387	381	768	366	380	746	385	398	783	408
	ベンダー事業	506	510	1,016	535	511	1,046	537	480	1,017	492	458	950	470
	食　　肉	722	759	1,481	728	785	1,513	791	816	1,607	846	902	1,748	938
	そ の 他	16	25	41	18	17	36	12	16	28	13	16	29	2
	合　　計	2,117	2,190	4,307	2,227	2,257	4,484	2,294	2,289	4,584	2,361	2,395	4,756	2,480
（内、ベンダー事業除く売上高合計）		1,611	1,680	3,291	1,692	1,746	3,438	1,757	1,809	3,566	1,868	1,937	3,805	2,010

ベンダー事業

	2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			2026年度
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期
売上高	506	510	1,016	535	511	1,046	537	480	1,017	492	458	950	470
営業利益	6	5	11	24	6	30	17	▲ 14	3	▲ 5	▲ 12	▲ 16	2
営業利益率（%）	1.2%	1.0%	1.1%	4.5%	1.2%	2.9%	3.2%	-	0.3%	-	-	-	0.3%

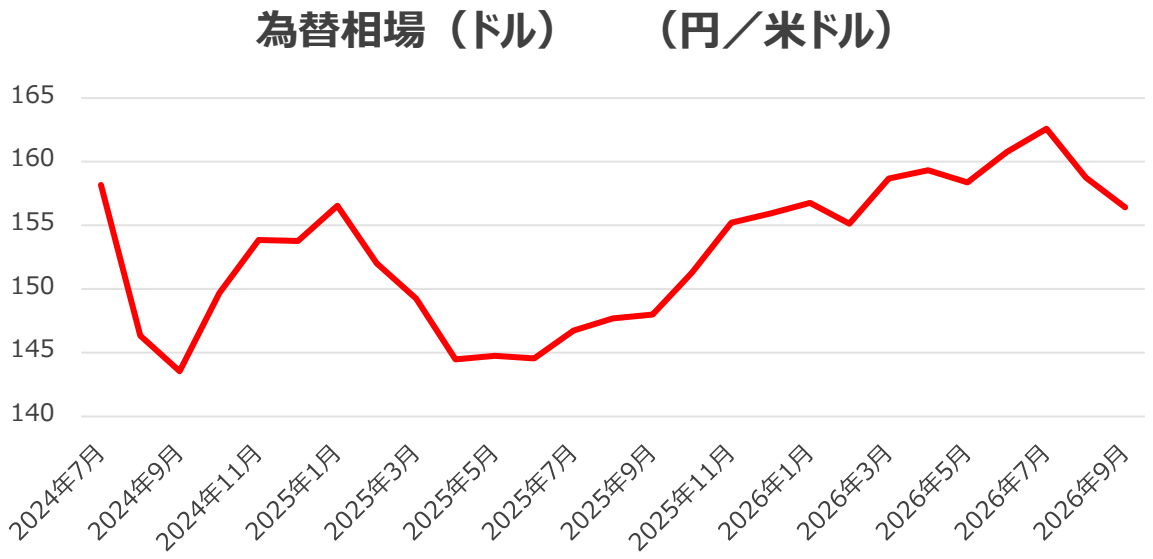
連結貸借対照表の推移（2022年度～2026年度上期 ）

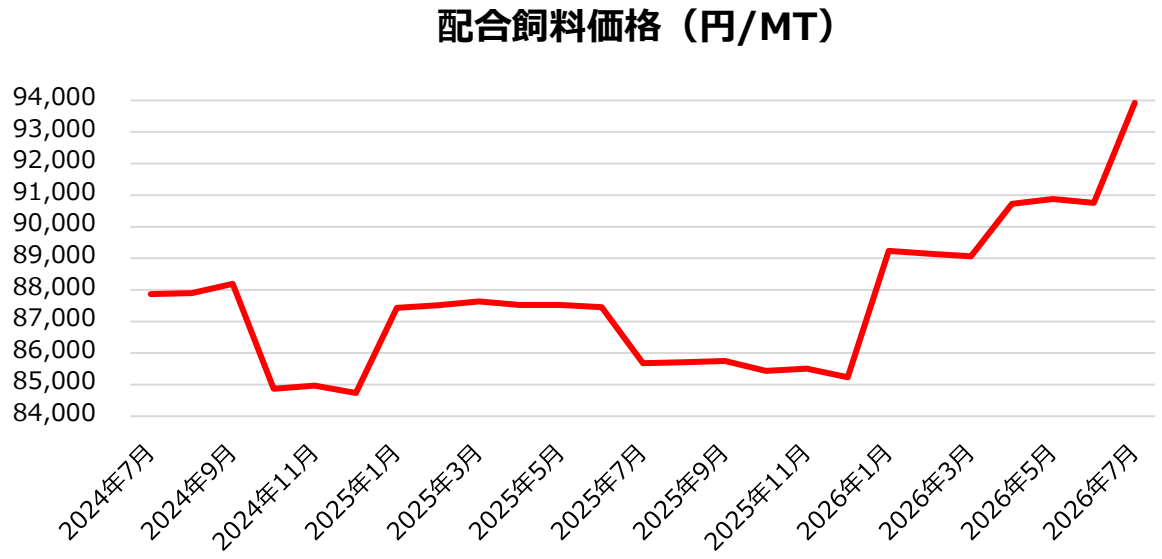
おいしさ、ふれあい。 プリマハム

（億円）

	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度
	上期末	年度末	上期末	年度末	上期末	年度末	上期末	年度末	上期末
流動資産	989	953	1,052	1,032	999	996	1,005	1,037	1,110
固定資産	1,308	1,346	1,395	1,416	1,426	1,400	1,424	1,376	1,376
総資産	2,296	2,299	2,448	2,448	2,425	2,396	2,429	2,413	2,486
流動負債	743	749	872	852	799	817	834	853	939
固定負債	306	318	308	294	298	277	278	254	233
負債合計	1,049	1,067	1,179	1,146	1,097	1,094	1,112	1,107	1,172
株主資本	1,042	1,040	1,056	1,083	1,103	1,111	1,122	1,117	1,128
その他包括利益 累計額	97	91	105	110	112	83	91	103	98
非支配株主持分	109	100	107	109	113	108	103	86	87
純資産合計	1,248	1,232	1,268	1,302	1,328	1,302	1,317	1,305	1,314
負債純資産合計	2,296	2,299	2,448	2,448	2,425	2,396	2,429	2,413	2,486

為替相場、配合飼料価格





為替相場（月次平均）

（円 ／ 米ドル）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24年度	154	156	158	158	146	144	150	154	154	157	152	149
25年度	144	145	145	147	148	148	151	155	156	157	155	159
26年度	159	158	161	163	159	156						

出所：みずほ銀行為替情報ヒストリカルデータ

配合飼料価格

（円 ／ MT）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24年度	85,830	85,935	86,150	87,872	87,895	88,193	84,865	84,971	84,734	87,428	87,515	87,634
25年度	87,520	87,519	87,449	85,675	85,709	85,746	85,434	85,511	85,232	89,235	89,139	89,065
26年度	90,728	90,881	90,753	93,925								

出所：農畜産業振興機構